

副次効果評価調査

主要目標番号	II-1-1.(2)	主要目標に対する副次効果項目	対象地区・箇所	副次効果	評価の説明	評価結果	
主要目標	災害に強い道路の確保						
評価対象地区・箇所名	国道411号(御屋敷拡幅)						
I 県民生活の豊かさと経済の発展を支える基盤充実	I-1. 交通の利便性の向上	(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上	●注	○	混雑時走行速度29km/h<30km/h、自動車交通量858台/12h<3.314台/12h →ランク b	1	
		(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上	●注				
		(3) 市街地内の交通の円滑化					
		(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上	●注				
	I-2. 生活環境の向上	(1) 森林機能の維持・向上					
		(2) 憩い空間の創出					
		(3) 生活排水処理機能の向上					
		(4) 良好な市街地空間の確保					
		(5) 適正な居住空間の確保					
		(6) 歩行者等の通行空間の確保	●				
		(7) 道路景観の向上					
	I-3. 農林水産業の振興	(1) 中山間地域等の農村生活・生産機能の向上					
		(2) 農業生産力の向上					
		(3) 農業排水能力の向上					
		(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)					
(5) 森林整備の効率化							
II 暮らしと経済活動の安全性確保	II-1. 交通の安全性の向上	(1) 歩行者等の安全性の確保	●				
		(2) 災害に強い道路の確保					
		(3) 都市災害防止	●				
		(4) 交差点の安全性、円滑性の向上					
	II-2. 洪水・土砂被害の防止	(1) 洪水被害の防止					
		(2) 土石流被害の防止					
		(3) 崖崩れ被害の防止					
		(4) 地滑り被害の防止					
	II-3. 鳥獣被害の防止	(1) 鳥獣被害の軽減					
	副次効果項目	交通利便性	交通ターミナル機能の強化	●			
アクセス機能の維持			●	○	集落間を結ぶアクセス道であり、1~2箇所の通行止めで迂回に2倍以上の時間が必要となる道路	1	
主要渋滞ポイントの解消			●				
生活環境		水質の浄化					
		大気汚染の軽減	●				
		騒音・振動の軽減	●				
		良好な景観の創出	●				
		バリアフリー化の促進	●				
		ライフラインの強化	●				
		身近な緑地・交流の場の提供	●				
		飲雑用水の安定供給					
		糞尿の処理					
地域の文化・学習等活動の支援							
各種情報の円滑な提供							
自然環境		水源涵養機能の向上	●				
		生態系空間の再生					
事故・災害防止		防火帯・延焼遮断帯の確保	●				
		緊急時の避難・救助機能の確保					
		被災時の被害波及の防止					
		既存施設の崩壊危険性の排除					
生産性		走行安全性の確保	●	○	死傷事故率が136.5件/億台km>100件/億台km(イエローゾーン)の区間であり、事故原因を軽減できる	1	
		林業生産力の向上					
		遊休農地の解消					
		新たな公共用地の創出					
		農地の保全					
その他	農林産物の販売促進						
	自然エネルギーの活用						
	リサイクルの推進						
	文化・歴史的資源等の保存・復元						
重要プロジェクトとしての位置づけ	他事業との一体施工	●					
	重要プロジェクトとしての位置づけ	●					
					副次効果 評点合計	3	

注1)「主要目標に対応する副次効果項目」の欄に「●」が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所」で想定される副次効果の欄に「○」を記入、「評価の説明」欄に具体的な評価内容を記入する。

注2) 副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内のランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランクに該当するものは2点、ランク以下の場合は1点とする。

注3)「II-1.(1)歩行者等の安全性の確保」、「II-1.(2)災害に強い道路の確保」、「II-1.(4)交差点の安全性、円滑性の向上」を主要目標とする事業(地区・箇所)の副次効果の評価にあたり、「I-1. 交通の利便性の向上」に基づく副次効果項目については、いずれか1項目のみを抽出し評価を行う。

副次効果評価調書

主要目標番号	II-1. (2)	主要目標に対応する副次効果項目	対象地区・箇所	評価の説明	評価結果	
主要目標	災害に強い道路の確保					
評価対象地区・箇所名	国道139号(上和田II期)					
主要目標項目	I-1. 交通の利便性の向上	(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上	●注			
		(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上	●注	○	道路改良率52.7%<59.7%、混雑時走行速度28km/h<30km/h →ランク a	2
		(3) 市街地内の交通の円滑化				
		(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上	●注			
	I-2. 生活環境の向上	(1) 森林機能の維持・向上				
		(2) 憩い空間の創出				
		(3) 生活排水処理機能の向上				
		(4) 良好な市街地空間の確保				
		(5) 適正な居住空間の確保				
		(6) 歩行者等の通行空間の確保	●			
		(7) 道路景観の向上				
	I-3. 農林水産業の振興	(1) 中山間地域等の農村生活・生産機能の向上				
		(2) 農業生産力の向上				
		(3) 農業用排水能力の向上				
		(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)				
(5) 森林整備の効率化						
II-1. 交通の安全性の向上	(1) 歩行者等の安全性の確保	●				
	(2) 災害に強い道路の確保					
	(3) 都市災害防止	●				
	(4) 交差点の安全性、円滑性の向上					
II-2. 洪水・土砂被害の防止	(1) 洪水被害の防止					
	(2) 土石流被害の防止					
	(3) 崖崩れ被害の防止					
	(4) 地滑り被害の防止					
II-3. 鳥獣被害の防止	(1) 鳥獣被害の軽減					
副次効果項目	交通利便性	交通ターミナル機能の強化	●			
		アクセス機能の維持	●	○	集落間を結ぶアクセス道であり、1~2箇所の通行止めで迂回に2倍以上の時間が必要となる道路	1
		主要渋滞ポイントの解消	●			
	生活環境	水質の浄化				
		大気汚染の軽減	●			
		騒音・振動の軽減	●			
		良好な景観の創出	●			
		バリアフリー化の促進	●			
		ライフラインの強化	●			
		身近な緑地・交流の場の提供	●			
		飲雑用水の安定供給				
		糞尿の処理				
	地域の文化・学習等活動の支援					
	各種情報の円滑な提供					
	自然環境	水源涵養機能の向上	●			
生態系空間の再生						
事故・災害防止	防火帯・延焼遮断帯の確保	●				
	緊急時の避難・救助機能の確保					
	被災時の被害波及の防止					
	既存施設の崩壊危険性の排除					
	走行安全性の確保	●				
生産性	林業生産力の向上					
	遊休農地の解消					
	新たな公共用地の創出					
	農地の保全					
その他	農林産物の販売促進					
	自然エネルギーの活用					
	リサイクルの推進					
	文化・歴史的資源等の保存・復元					
	他事業との一体施工	●				
	重要プロジェクトとしての位置づけ	●				
副次効果 評価点合計					3	

注1「主要目標に対応する副次効果項目」の欄に「●」が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所」で想定される副次効果の欄に「○」を記入、「評価の説明」欄に具体的な評価内容を記入する。

注2副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内のランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランクaに該当するものは2点、ランクb以下の場合は1点とする。

注3「II-1. (1)歩行者等の安全性の確保」、「II-1. (2)災害に強い道路の確保」、「II-1. (4)交差点の安全性、円滑性の向上」を主要目標とする事業(地区・箇所)の副次効果の評価に当たり、「I-1. 交通の利便性の向上」に基づく副次効果項目については、いずれか1項目のみを抽出し評価を行う。

副次効果評価調書

主要目標番号	II-1.(2)	主要目標に対応する副次効果項目	対象地区・箇所	副次効果	評価の説明	評価結果	
主要目標	災害に強い道路の確保						
評価対象地区・箇所名	(主)上野原丹波山線						
主要目標項目	I 県民生活の豊かさや経済の発展を支える基盤充実	I-1. 交通の利便性の向上	(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上	●注			
			(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上	●注	○	道路改良率 52.6%>59.7%未済 混雑時走行速度 29km/h<30km/h以下 ランクa	2
			(3) 市街地内の交通の円滑化				
			(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上	●注			
		I-2. 生活環境の向上	(1) 森林機能の維持・向上				
			(2) 憩い空間の創出				
			(3) 生活排水処理機能の向上				
			(4) 良好な市街地空間の確保				
			(5) 適正な居住空間の確保				
			(6) 歩行者等の通行空間の確保	●			
			(7) 道路景観の向上				
		I-3. 農林水産業の振興	(1) 中山間地域等の農村生活・生産機能の向上				
	(2) 農業生産力の向上						
	(3) 農業用排水能力の向上						
	(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)						
	(5) 森林整備の効率化						
	II 暮らしと経済活動の安全性確保	II-1. 交通の安全性の向上	(1) 歩行者等の安全性の確保	●			
			(2) 災害に強い道路の確保				
			(3) 都市災害防止	●			
			(4) 交差点の安全性、円滑性の向上				
		II-2. 洪水・土砂被害の防止	(1) 洪水被害の防止				
(2) 土石流被害の防止							
(3) 崖崩れ被害の防止							
(4) 地滑り被害の防止							
II-3. 鳥獣被害の防止		(1) 鳥獣被害の軽減					
副次効果項目		交通利便性	交通ターミナル機能の強化	●			
	アクセス機能の維持		●	○	集落と集落を結ぶアクセス道路であり、1~2箇所の通行止めで迂回に2倍以上の時間が必要となる。	1	
	主要渋滞ポイントの解消		●				
	生活環境	水質の浄化					
		大気汚染の軽減	●				
		騒音・振動の軽減	●				
		良好な景観の創出	●				
		バリアフリー化の促進	●				
		ライフラインの強化	●				
		身近な緑地・交流の場の提供	●				
		飲雑用水の安定供給					
		糞尿の処理					
		地域の文化・学習等活動の支援					
	各種情報の円滑な提供						
	自然環境	水源涵養機能の向上	●				
		生態系空間の再生					
	事故・災害防止	防火帯・延焼遮断帯の確保	●				
		緊急時の避難・救助機能の確保					
		被災時の被害波及の防止					
		既存施設の崩壊危険性の排除					
		走行安全性の確保	●				
生産性	林業生産力の向上						
	遊休農地の解消						
	新たな公共用地の創出						
	農地の保全						
その他	農林産物の販売促進						
	自然エネルギーの活用						
	リサイクルの推進						
	文化・歴史的資源等の保存・復元						
	他事業との一体施工	●					
	重要プロジェクトとしての位置づけ	●					
副次効果 評価点合計						3	

注1「主要目標に対応する副次効果項目」の欄に「●」が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所」で想定される副次効果の欄に「○」を記入、「評価の説明」欄に具体的な評価内容を記入する。

注2副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内のランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランクaに該当するものは2点、ランクb以下の場合には1点とする。

注3「II-1.(1)歩行者等の安全性の確保」、「II-1.(2)災害に強い道路の確保」、「II-1.(4)交差点の安全性、円滑性の向上」を主要目標とする事業(地区・箇所)の副次効果の評価に当たり、「I-1. 交通の利便性の向上」に基づく副次効果項目については、いずれか1項目のみを抽出し評価を行う。